

ジープ ラングラー ルビコン ポリスの修理法（電源が入らない）

2023.03.29

トミー・マック

1. 外 観

おもちゃ名は「R/C 1/18スケール ジープ ラングラー ルビコン ポリス」で、ショーゼン製のトイザラス限定販売品です。



2. 特 徴

防塵防水仕様で水たまりでの走行も可能。汚れたら水かけ洗いもできる！

high/low のスピード 2 段切り替え。エコモード（スピード low）でバッテリー-長持ち。

最高スピード約 13km/h 登坂 45 度、パトライト点滅。本格サスペンション搭載で悪路もガンガン走破。

3. 故 障

防塵防水仕様と謳っていますが、実際は簡易防水構造です。長時間水に浸かったり、雨にかかり水に濡れたままにすると、水滴が電源スイッチやプリント基板に侵入し、「電源が入らない」や「動かない」という故障になることが多いです。

今回の故障は、電源スイッチのつまみが固く、「入り」にできない故障です。

4. 原 因

分解と修理過程で分かったことは、

- 電源スイッチの本体ケースと接点が錆び。 → 電源スイッチに水滴が浸入し、そのまま放置？

対応は、

- 電源スイッチを分解し、接点をカッターの刃で研磨し、接点復活剤を塗布して組み戻します。

5. 修 理

（1）シャーシの外し

ジープを逆さにし、ボディー内側の前後左右サスペンション近傍の○印のネジ（タッピング 2.6X8）4本を外します。



ジープ ラングラー ルビコン ポリスの修理法（電源が入らない）

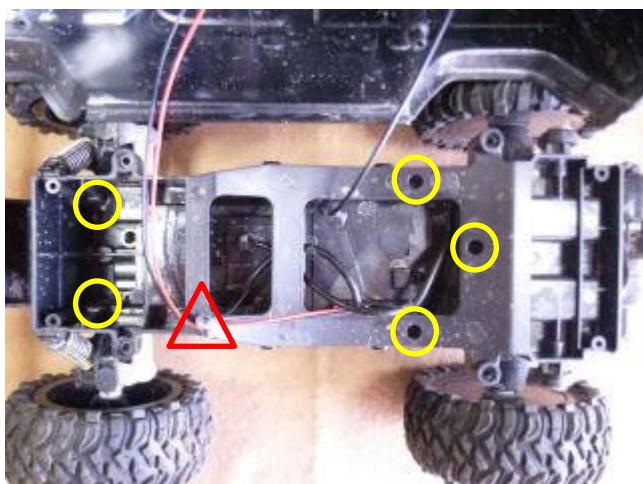
（2）後輪サスペンションのネジ外し

左後輪サスペンションの上のネジ（座付きタッピング 2.6×5）を外します。

右後輪サスペンションの上も同様にネジ（座付きタッピング 2.6×5）を外します。



（3）後輪サスペンション留め枠の外し

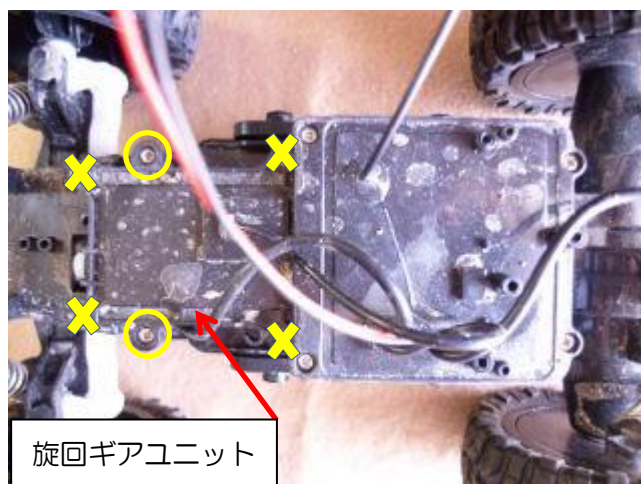


○印のネジ（タッピング 2.6×8）5本を外します。

そして後輪サスペンション留め枠上の△印の赤黒色リード線留めのグルーを外します。

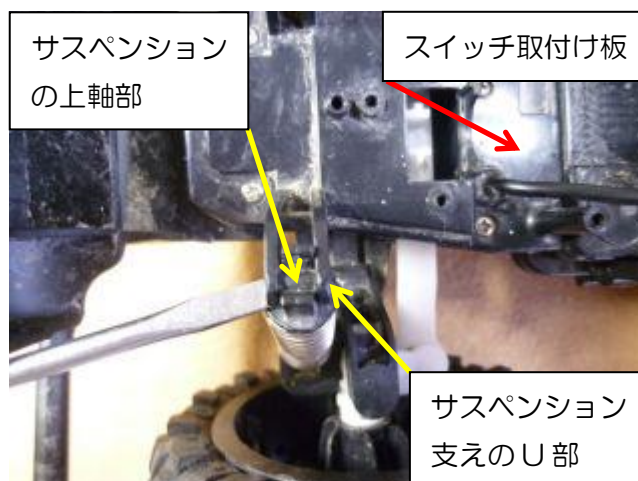
（4）旋回ギアユニットの外し

○印のネジ（タッピング 2.6×8）2本を外します。×印のネジ4本は外さないこと。



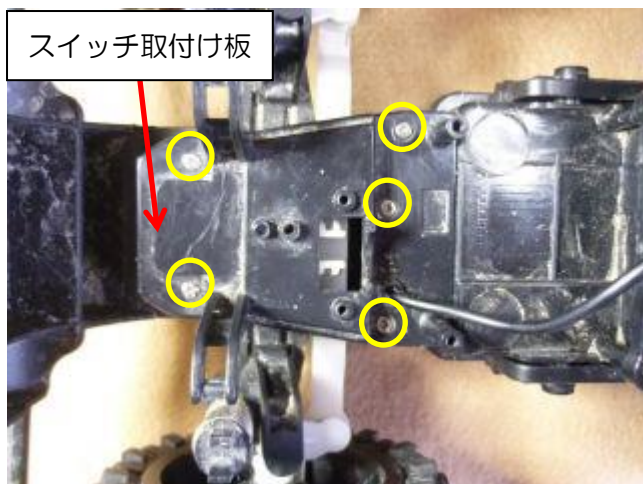
（5）前輪サスペンション上留め軸の外し

スイッチ取付け板の左前輪サスペンション支えのU部から、左前輪サスペンションの上軸部をマイナスドライバーの先でこじって外します。右前輪サスペンションの上軸部も同様にして外します。



ジープ ラングラー ルビコン ポリスの修理法（電源が入らない）

（6）スイッチ取付け板の外し



○印のネジ（タッピング 2.6×8）5本を外します。

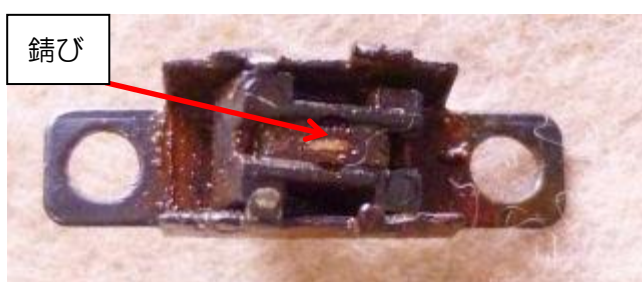
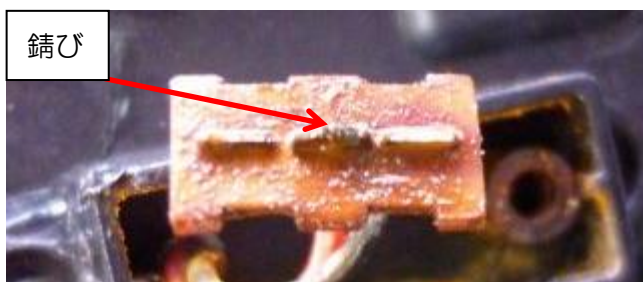
（7）電源スイッチの確認

スイッチ取付け板を裏返すとスイッチが見え、ネジ（タッピング 2.6×5）を外します。

スイッチ本体ケースのつまみ部や側面が茶色く錆びて、つまみが固くて動きません。



分解すると、接点が錆びています。



この接点の錆が、つまみの動かない原因です。

（対応）



接点をカッターの刃で研磨し、接点復活剤を塗布して組み直します。

（結果）



つまみの動きがスムーズになり接点不良が無くなりました。

これで、原因追及と **修理完了**。

ジープ ラングラー ルビコン ポリスの修理法（電源が入らない）

(8) 元に戻す

ここまでの過程を戻れば組めますので、詳細の説明を省略し、組み戻しで要注意点のみ記載します。

(a) スイッチ取付け板のネジ留め

ネジ（タッピング 2.6X8）5本で留めます。

(b) 前輪サスペンションの留め

左右共に前輪サスペンションの上軸部を前輪サスペンション支えのU部に押し込み固定します。

(c) 旋回ギアユニットの留め

ネジ（タッピング 2.6X8）2本で留めます。

(d) 後輪サスペンション留め枠の留め

ネジ（タッピング 2.6X8）5本で留めます。そして赤黒色リード線をグルーで留めます。

(e) 後輪サスペンションのネジ留め

左右共にネジ（座付きタッピング 2.6X5）で留めます。

(f) シャーシの留め

ネジ（タッピング 2.6X8）4本でボディーに留めます。

完了

終わり